

(JP) AquaScape アクアスケープ アクアリウム用ボンド

注意

水槽内で長時間パテの作業をすると、混合パテから粉状の滑石物質がはがれ、水槽が濁り生体に悪影響を及ぼす場合がございます。水槽内の水が濁った場合は、水換えを行ってください。

アクアスケープを使用一度にたくさん使用する場合は、作業の間隔をあけるか、別バケツなどに水を張って作業する事をお勧めします。

アクアスケープはD-Dが特別に開発した2種混合型エポキシ樹脂パテで、海水水槽や淡水水槽およびその他の水中での用途に使用できます。

海水水槽では、ライブロックを結合して複雑な構造が形成でき、巻貝、ウニおよび強い水流によって岩が崩れることを防止するのに最適です。また、サンゴの断片を固定することや、二枚貝(シャコ貝など)の土台を形成し、ウミケムシの攻撃を受けて死ぬのを防ぐことができます。また、パイプの水漏れ、破損した機器の補修や、水槽のガラスに何かを接着するのにも使用できます。

アクアスケープは他のエポキシ樹脂に比べて粘着力が非常に強いいため、濡れた素材を容易に接着できます。紫のバージョン(マリンスタイル)は水中で硬化し石灰藻色に変色するように作られています。したがって、本物の石灰藻で覆われる前でも海水水槽内をより自然に見せることができます。ただし、水中から出すと濃い色目(深紅の石灰藻の色)に変色します。

淡水水槽および造園池の場合、グレーのバージョン(フリースタイル)がより適している場合がありますが、どちらの色もあらゆる環境下で利用可能です。

2本のスティックは長期保存が可能ですが、混合するとパテは最初のうちは柔らかく非常に粘着性が強い状態で、その後、徐々に硬くなっていきます。硬化速度は気温の影響を受けます。常温(20-25℃)では、アクアスケープは3-4時間で半硬質になります。水中の場合は表面部分の硬化にも少し長い時間を要します。混合したパテを電子レンジで10秒程度加熱すると硬化速度を加速させることができます。

完全に硬化したら、アクアスケープは必要に応じて機械処理、ドリル処理、打ち込み、研磨、サンドペーパー処理および塗装することができます。耐熱温度は最大130℃です。

アクアスケープは、木、レンガ、セメント、金属、コンクリート、岩、プラスチック、ガラスなどの素材の接着が可能です。接着力に優れていますが、一般の接着剤のように薄く塗る接着剤としての使用には適しません。

アクアスケープを初めてご使用になる場合、水槽で使用する前に、その特性について十分に理解しておくことをお勧めします。少量を混合し、最初に混合したときの粘着性を確認し、その後2-3時間にわたって観察してみてください。30分するとゴム状になり、ナイフやハサミで切断できます。その後非常に硬くなり、粘着性がなくなります。水中で使用した場合の色の変化を観察してください。1晩で完全に硬化し、岩をしっかりと固定します。

使用方法

パックの各スティックからパテを等量取って混合し、色が混ざり均一になるまで最低5分間練り合わせ、その後さらに1分間混ぜます。混合パテをよりスムーズに作成するには、混合する前のパテの断片を電子レンジで5-10秒加熱するとより柔軟になり混ぜ易くなります。

アクアスケープはパテの状態(固定する前)では、国内で使用されているほとんどの化学物質と同様に、敏感な肌に刺激を起こす場合があります。

したがって2つの成分を混合するとき、ゴム手袋または使い捨てのポリエチレン製手袋の使用をお勧めします。アクアスケープの混合または作業を素手で行った場合は、使用後ただちに石鹸と温水で洗浄することをお勧めします。

ヒント

パテが冷たい場合、混合する前の断片を電子レンジに4-5秒程度入れると、原料が柔らかくなり、容易にしっかりと混合できるようになります。一度混合したパテを再度電子レンジに入れると、硬化力および最終的な硬化時間が著しく減少します。電子レンジでの処理をお勧めしますが、混合前または混合後にパテを加熱し過ぎるとやけどの恐れがありますので注意してください。

水槽内で使用する場合、混合パテから粉状の滑石物質が剥がれ、一時的に水が濁る場合があります。この残留物は低レベルで毒性がなく、使用前に水道水またはバケツに入れた水でパテを混合することにより、これを減らすことができます。

水槽が明らかに濁っている場合、水中でのパテの作業が長すぎるとを意味します。この場合、作業をやめ、水換えをして下さい。

サンゴの配置とサンゴの繁殖

サンゴを扱う際は、ピンセットを使って切断部をパテに押し付けるようにします。これは、手または手袋に付着した残留物により、サンゴの初期回復速度または成長の成功率や成長速度が低下する場合がありますためです。

大きなサンゴを配置する場合、まずバケツかコンテナに水槽の水を入れ、アクアスケープをサンゴの土台に付けてバケツ(またはコンテナ)内で軽く振って残留物を取り除きます。サンゴを押し付けて固定し、必要であればパテが硬化するまで支えておきます。

二枚貝の保護

二枚貝はウミケムシの攻撃を受けやすく、特に砂またはサンゴ粒の底砂の上に置いた場合ではその影響を大きく受けます。過去に二枚貝を死なせてしまった経験のある人は、おそらくそれが原因のひとつです。ウミケムシは夜間に二枚貝の基盤部分を攻撃し、内部からゆっくと食べます。

対象の二枚貝ごとに作成されたアクアスケープの土台を使うと、二枚貝は土台に自ら接着し、攻撃を受けないように密着することができます。

二枚貝の土台を作成するには、まずパテを混合し、1/4インチ(6.32ミリ)厚の細長い楕円形にします。二枚貝をアクアスケープに押し当てて型を作り、二枚貝を離します。パテを水に入れ変色するまで放置して硬化させます。二枚貝を水槽内の土台の上に置きます。これで二枚貝は自らアクアスケープの土台に接着し、外敵からの攻撃を防御することができますようになります。

ライブロックに事前にドリルで5-10ミリ大の穴を適切な位置に開けておくことで、サンゴを簡単に固定させることができます。アクアスケープで作ったダボネジにサンゴを接着し、それらの穴に挿入する方法です。

まず、サンゴを接着する24時間前にアクアスケープを使って後述の通り、ダボネジを作成します。ダボネジとは、穴に挿入できる太さの棒状のものを作り、一方を平らに仕上げたものです(釘状の棒)。ダボネジが硬化したら、さらにパテを使ってダボネジの平らな部分とサンゴを接着します(この作業は水中で行ってください)。そのまま硬化するのを待って、ドリルで開けたライブロックの穴に差し込み、パテで埋め接合します。

岩組み

岩組みは常に安定し、一度水槽を立ち上げた後は崩れやそれに伴うシステムの損傷、または障害が発生するのを防ぐ必要があります。

アクアスケープの塊を使って基礎となる岩盤に土台を作成し利用することで、安定性を向上させることができます。また、底砂から岩を持ち上げることで、無酸素のエリアができるのを防ぐことができます。

岩が底のガラスに付着するのを防止するには、硬化中にポリエチレン製のラップを足の下に敷き、後で取り除きます。しっかりと安定した岩組みを作成するためには、ケーブルタイなどを使って岩を固定した後、アクアスケープで最終的に接着します。

それぞれの岩にドリルで穴を開けて、岩の穴に骨組みとしての塩ビパイプを通してアクアスケープで、それらを固定することで高い搭状の岩組みを作成することができます。

また、アクアスケープは岩をガラスに接着することもできます。

配管および池の中敷の修復

アクアスケープを使って配管の少量の水漏れやひび、また水槽設備の修理ができます。また、コンクリートや池の中敷の漏れも修復できます。

製品の保証について

万が一、製品に不良が見つかった場合は購入店または、弊社までご連絡ください。この保証は国内において有効です。※本製品による生体の死亡等、一切保証致しかねます。

注意：

- 子供の手の届かないところで保管してください。
- 涼しい場所に保管してください。
- サンゴまたは魚の入った水槽で1度に大量に使用する際は注意してください。
- 本製品の使用中は海水水槽の酸素供給と透明度を十分に確認してください。水中での使用時間が長く水が濁った場合、酸素レベルが低下することがあります。別の水(タンクやコンテナ)での操作または電子レンジを使用することにより、最終利用時の濁りを軽減することができます。

株式会社エムエムシー企画

〒174-0063 東京都板橋区前野町6-29-4

E-mail : info@mmclplanning.com

製品に関する詳細は、弊社のウェブサイトを参照してください。www.mmclplanning.com